

松本市住宅マスタープラン見直しの視点

松本市住宅マスタープラン（平成22年3月策定）

I 安全・安心の住まい・まちづくり

[凡例] できている
できていない

1 災害に強い住まい・まちづくり

施策 耐震診断や耐震改修等／建築物の適切な維持・保全／住まいとまちの不燃化／災害発生危険区域内住宅の移転／再利用が困難な老朽空き家の除却／住宅の防火性能の向上／被災住宅の再建／災害時における民間空き家等の活用

2 健康にやさしい住まいづくり

施策 アスベスト飛散防止／良好な室内環境の確保

3 ユニバーサルデザインを導入した住まい・まちづくり

施策 住宅のユニバーサルデザイン化／公共施設等のユニバーサルデザイン化

II 住宅・宅地のストックの活用と流通の促進

1 住まいの長寿命化

施策 ライフスタイルに対応できる長寿命住宅の普及／マンションの適正な修繕・改修や円滑な建替え

2 住み替えがしやすい仕組みづくり

施策 適正な住宅情報の提供等／空き家・空き部屋（中古住宅、賃貸住宅等）の活用／持ち家を活用した住替えの活発化

III まちなかや中山間地等の地域特性に応じた住まい・まちづくり

1 まちなかにおける住まい・まちづくり

施策 持ち家の取得／民間賃貸住宅への入居

2 中山間地における住まい・まちづくり

施策 中山間地への住替えの促進／田舎暮らしに関する情報発信等

3 地域住民が主体となるまちづくり

IV 環境と調和する住まい・まちづくり

1 自然環境に調和した住まい・まちづくり

施策 木材を利用した住まいづくり／自然環境に調和した街並み等の景観形成

2 省エネの住まいづくり

施策 省エネルギー住宅や新エネルギーを活用した住宅の普及／建築物における効率的なエネルギーの利用

3 建設廃棄物の減量とリサイクル

施策 リサイクル製品等の普及／建設廃棄物の分別・減量化

V 誰もが安定した居住を確保できる住まいづくり（セーフティ・ネット）

1 多様な入居者・世帯が住みやすい公営住宅の運営

施策 公営住宅へのより公平・的確な入居／入居者に応じた公営住宅の提供／公営住宅の効率的な管理運営／公営住宅への多様な世帯の入居による住民の交流

2 住宅困窮者が民間賃貸住宅に入居しやすい仕組みづくり

(1) 社会動向の整理

- 人口減少と少子・高齢化の進展
- カーボンニュートラルの実現
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大等に伴う新たな日常の定着
- デジタル技術の進展に伴う社会全体のDXの推進
- 気候変動に伴う自然災害の激甚化・頻発化
- コンパクト・プラス・ネットワークの実現
- 東京への一極集中と地域格差の是正
- 誰一人取り残すことのない持続可能な社会を実現するSDGsの推進

(2) 住生活基本計画（全国計画）の概要

視点1	社会環境の変化	目標1	新たな日常、DXの推進等
		目標2	安全な住宅・住宅地の形成等
視点2	居住者・コミュニティ	目標3	子どもを産み育てやすい住まい
		目標4	高齢者等が安心して暮らせるコミュニティ等
視点3	住宅ストック・産業	目標5	セーフティネット機能の整備
		目標6	住宅循環システムの構築等
		目標7	空き家の管理・除却・利活用
		目標8	住生活産業の発展

(3) 長野県住生活基本計画の概要

1 しあわせ信州“住まい方”ビジョン2030

信州らしさ
(信州の強み)

住みこなす

地域に
ひらく・
つながる

居心地・
心地よさ

豊かさ・
しあわせの
パラダイム
シフト

I 住まいの姿 環境や健康にやさしく安全な住まい

II 住みこなし 多様な変化やニーズに対応した住まいの選択

III コミュニティ 地域や社会にひらかれつながりささえあう暮らし

2 住生活の基本理念と目標

基本理念 「育まれた資源を次世代に引き継ぎ、持続可能な地域共生社会をめざして」

基本的な視点

- I 2050ゼロカーボン社会の実現
- II 住まい方への大きな潮流の変化を踏まえた対応
- III 多様な世代がささえあうコミュニティの形成

住生活の目標

- 1 脱炭素社会に向け環境や健康にやさしく安全な住まいづくり (I 住まいの姿)
- 2 多様な変化やニーズに応じた住まいの選択 (II 住みこなし)
- 3 ひらかれ、つながり、ささえあう暮らしの実現 (III コミュニティ)
- 4 誰もが安心して暮らせる住まいの提供
- 5 地域経済を支える住生活関連産業の発展

住宅施策の動向を踏まえた新たな視点(例)!

- 環境・健康・安全に配慮した住まいづくり**
 - ✓ 再生可能エネルギーの導入
 - ✓ 本市の気候風土を活かした住まいづくり
 - ✓ 耐風性の向上
 - ✓ 不動産取引時における災害リスク情報の提供 等
- 多様なニーズに応じた住まい方**
 - ✓ 職住一体の住まいづくり（テレワークスペース等）
 - ✓ 職住近接の住まいづくり
（コワーキングスペース、サテライトオフィス等）
 - ✓ 職育近接の住まいづくり（地域や職場の子育て支援施設等）
 - ✓ ライフステージに応じた柔軟な住替え
 - ✓ 二地域・多地域居住の促進
 - ✓ 非接触型の暮らし（宅配ボックス等）
 - ✓ 空き家の発生抑制・荒廃化の未然防止 等
- 多様な世代の支え合いとコミュニティ形成**
 - ✓ 高齢期に備えた総合的な住まいの相談体制の充実
 - ✓ ヒートショック対策（温熱環境）の充実
 - ✓ IOT技術を活用した高齢者の見守り
 - ✓ サービス付き高齢者向け住宅の整備・情報開示の推進
 - ✓ 多世代同居・多世代近居の促進
 - ✓ 多様な世代がつながり交流するミクストコミュニティの形成
 - ✓ 子育て・共働き世代に配慮したまちなか居住の推進 等
- 誰もが安心して暮らせる住まいづくり**
 - ✓ セーフティネット登録住宅の家賃低廉化の推進
 - ✓ 住宅確保用配慮者への生活相談・支援体制の確保
 - ✓ 災害発生時の住まいの確保 等
- 住生活産業の発展と新技術の活用**
 - ✓ 地域における住まいづくりの担い手の確保・育成
 - ✓ 既存住宅流通の活性化の促進、リフォーム市場の拡大
 - ✓ 新技術を活かした住まいの普及
 - ✓ 住宅分野における遠隔・非接触型の顧客サービスの充実 等

基本方針

- 基本方針1 環境・健康・安全に配慮した住まいづくり
- 基本方針2 多様なニーズに応じた住まいの実現
- 基本方針3 多様な世代の支えあいとコミュニティ形成
- 基本方針4 誰もが安心して暮らせる住まいづくり
- 基本方針5 住生活産業の発展と新技術の活用

市民アンケートの結果

これまでの持ち家志向から求められる住宅の種類、必要な空間、住まい方に関するニーズが住む人ごとに異なるものとなってきている。

インターネットアンケートの結果（速報）

実施期間：令和5年10月30日～11月12日

回答数：485

基本方針ごとの『市が特に力を入れてもらいたいと思うこと』に関する質問で回答が多かった選択肢（上位3つ）

基本方針1 環境・健康・安全に配慮した住まいづくり	
(1) 健康長寿の住まいづくり（断熱性能を備えた住宅の普及促進など）	53.6%
(2) 高齢者等が安心して暮らすことができる住まいの支援（住まいのバリアフリー化など）	47.5%
(3) 本市の気候風土を活かした住まいづくり	41.1%
基本方針2 多様なニーズに応じた住まいの実現	
(1) 空き家対策	55.4%
(2) ライフステージに応じた柔軟な住替えの促進	53.8%
(3) 職育近接の住まいづくり（地域や職場の子育て支援施設等）	33.1%
基本方針3 多様な世代の支えあいとコミュニティ形成	
(1) 高齢期に備えた総合的な住まいの相談体制の充実	50.9%
(2) 多様な世代がつながり交流するミクストコミュニティ形成の促進	42.5%
(3) 子育て・共働き世代に配慮したまちなか居住の推進	42.5%
基本方針4 誰もが安心して暮らせる住まいづくり	
(1) 災害発生時の住まいの確保	75.6%
(2) 住宅要配慮者への生活相談・支援体制の確保	48.0%
(3) セーフティネット登録住宅の家賃低廉化の推進	35.0%
基本方針5 住生活産業の発展と新技術の活用	
(1) 新技術を生かした住まいの普及	72.3%
(2) 既存住宅流通の活性化の促進、リフォーム市場の拡大	56.9%
(3) 地域住宅産業の基盤強化（建設キャリアアップシステムの普及促進、担い手の確保・育成など）	46.2%

①多様な住まい方・働き方の実現



②多様な世代が安心して暮らし続けられる地域の実現

③市民の豊かで幸せな暮らしを実現

見直し案①	一人ひとりが豊かさと幸せを実感できる 松本らしい住まいづくり
見直し案②	みんなが豊かで幸せ 住まいと暮らしがシンカするまち 松本
現行計画	松本のゆとりある暮らしをつくり、支え続ける住まい・まちづくり